


題材	I 絵の具のまほうつかい -造形遊びをする-			4月(2時間)
目標	ぼかしやにじみ、筆のタッチなど、絵の具でできる表現技法を知り、楽しんで絵に表すことができる。			
評価 規準	(①知・技) 水の量や手順に気を付け、筆の扱い方を工夫している。 (②思・判・表) 表したい様子を思い浮かべ、表したい感じが分かるように画面の構成や色彩、扱う表現技法などを工夫している。 (③主体的態度) つくりだす喜びを味わい、進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であ う あ ら わ す ・ ひ ろ げ る ふ り か え る	2	○絵の具を使った様々な表し方を試し、表し方に名前を付ける。 ○様々な表し方を試した紙を並べ、友達と紹介し合う。	○自分で見つけた絵の具の表し方に、自分なりのイメージをもつことができるよう、印象や方法についてロイロノートに記述する活動を設定する。 ○絵の具でできる表現技法について考えることができるよう、見つけたことについてロイロノートに記述する機会を設定する。	◇ 絵の具の量や水量を調整したり、筆使いを工夫したことについて記述したりしている。 <行動・振り返り①②③> ◇水彩絵の具の様々な表し方に興味をもち、楽しみながら様々な表し方を見付けたり、発言したりしている。 <行動・発言③>
共通事項	絵の具でできる表現技法を試す活動を通して、ぼかしやにじみ、筆のタッチなどの形や色、組合せなどの感じを捉え、自分のイメージをもつ。			

題材	2 物語の絵 -絵に表す-		4・5・6月(12時間)
目標	物語を聞いて場面の様子を思い浮かべ、表したいことが分かるように表し方やパスと絵の具の扱い方を工夫して絵に表すことができる。		
評価規準	(①知・技) 物語の好きな場面を選んで絵に表すことに楽しんで取り組み、表現のよさを味わっている。 (②思・判・表) 表したい場面の様子を思い浮かべ、表したい感じが分かるように画面の構成や色彩、扱う表現技法などを工夫している。 (③主体的態度) つくりだす喜びを味わい、進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組もうとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
であう	1	○物語「海の楽隊」を聞いて感想を話し合い、絵に表したい場面を決める。 学習のめあて 新しいかき方を生かして、『海の楽隊』の好きな場面をかこう	○表したいイメージがよりはっきりするように、場面を選ぶ機会を設定する。
あらわす・ひろげる	3	○場面の様子がよく伝わるようにする方法を考えて、表し方を工夫して下絵をかく。 ・場面の中で一番大切なものの配置や、表したい感じにするための配色を、アイデアスケッチをしながら考える。 ・おおまかな画面の構成が決まったら、画用紙に下絵をかく。	○場面の中心となるもののかき方を理解できるように、工夫してかいている子どもの作品を紹介する。 
	7	○水彩絵の具で彩色する。 ・ぼかしやにじみ、筆のタッチなどを工夫して船や人物、魚たち、海などを彩色する。 ・必要に応じて、パスやカラーペンなどを併用してかく。	○表したい感じに合わせて表現できるように、ぼかしやにじみ、筆のタッチなど彩色を工夫している子どもの表現を紹介する。
ふりかえる	1	○作品を見合い、互いの表現の工夫を見付け合う。	○互いの表現の工夫を見付け合えるように、筆のタッチや彩色の視点を提示して鑑賞する機会を設定する。
共通事項	表したい場面の様子を思い浮かべながら物語を絵に表す活動を通して、かきたい場面の形や色、組合せなどの感じを捉え、自分のイメージをもつ。		

評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」

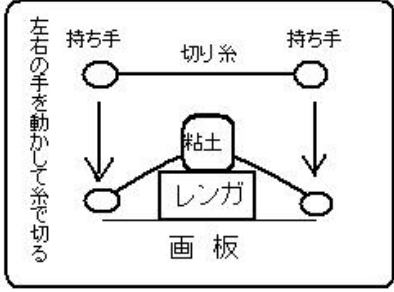

◇物語『海の楽隊』を読んだ感想や、絵に表したい場面について、友達に伝えている。 <発言③>


◇画面の中心となるものを考え、表したいものの大きさが分かるようにかいている。 <作品②>

◇表したい感じに合わせて表現技法や色彩などについて、絵の具の水の量をおおまかに調節したり手順に気を付けたりしながらかいている。 <行動・作品①>

◇表現の工夫や楽しさに気づき、振り返りに記述している。 <振り返り③>

題材	3 見つけた！にているところ -鑑賞-			7月(2時間)
目標	アートカードを比べて見て、絵や図柄の形や色、組合せなどの共通点を見付け、よさや面白さを感じ取ることができる。			
評価規準	(①知・技) アートカードの絵や図柄の形や色、組合せなどの工夫に気付いている。 (②思・判・表) アートカードの絵や図柄の形や色、組合せなどの共通点を見付け、表し方の感じの違いが分かる。 (③主体的態度) アートカードを比べて見て、感じたことを言葉で表現することに関心をもつ。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○提示された1枚のアートカードを見て、人物、形、表情、ポーズ、色、組合せなど、共通点のある絵を3枚のアートカードから見付け、発表し合う。	○アートカードを使ったカードゲームに関心をもてるよう、子どもと一緒にゲームを行い、演示する。	◇アートカードを使った活動やゲームに意欲的に取り組んでいる。 <行動③>
あらわす・ひろげる		○4～5人のグループに分かれ、提示されたアートカードと配布されたアートカードの共通点を見付けるカードゲームをする。 ・カードゲームのルール (1) 一人3枚ずつアートカードを配付する。 (2) 残りのカードを裏にして真ん中に置き、1枚ずつ表にして置く。 (3) 表向きに置かれたアートカードと共通点のある手札を見付け、共通点を見付けられた人から発表して出す。 (4) グループの2人以上に共感を得られれば提示されたアートカードをもらい、手札にできる。共感を得られなければ、手札にできず、他の人が共通点を発表する。共通点を誰も見付けることができない場合は、パスすることができる。 (5) 真ん中のアートカードがなくなったときに一番多く手札を持っていた人が勝者。	○アートカードの絵や図柄の細部の形や特徴をよく見て、自分が感じたことを言葉で表現できるよう、カードゲームを通して見付けた共通点を言葉で説明する機会を設定する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>《姉妹》</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>《座婦》</p> </div> </div>	◇アートカードを比べながら、観点を基に共通点を見付け、発表している。 <行動②> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>《水の中》</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>《ノートルダム》</p> </div> </div>
ふりかえる	1	○本時の活動の振り返りをする。	○アートカードの絵や図柄の形や色、組合せなどの工夫に気付けるよう、友達と考えを共有する機会を設定する。	◇アートカードの絵や図柄の形や色、組合せなどの工夫を記述している。 <振り返り①②③>
共通事項	アートカードを比べて見る活動を通して、絵や図柄の形や色、組合せなどの感じを捉え、自分のイメージをもつ。			

題材	4 切って つんで -立体に表す-			6月(2時間)
目標	切り方を工夫しながら粘土を糸で切る方法を試し、できた形の生かし方を考えて立体に表すことができる。			
評価規準	(①知・技) 粘土の切り方を工夫して、おもしろい形をつくる。 (②思・判・表) 粘土を糸で切った形の向きや、組合せを工夫して表せそうなものを考えたり、付け足すものを工夫したりする。 (③主体的態度) 粘土を糸で切って加工することを楽しみ、進んで表現に取り組んで形の面白さや、形の生かし方のよさに気付く。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
であう あらわす・ひろげる	1	○糸を使って粘土のかたまりを切ったり、つんで多様な形をつくったりする。 	○粘土を糸で切る発想が広がるよう、見る方向や組合せを変えることでいろいろなものに見えてくることを例示する。 	◇切り方を変えながら繰り返し粘土を切ったりつんだりし、できた形の面白さについて発言している。 <発言・作品①②③>
ふりかえる	1	○できた作品を並べ、自分の作品について説明したり、互いの表現のよさを見付け合ったりする。	○互いの表現のよさを見付け合えるように、楽しく見合っている様子に共感したり、面白さやよさに気付いていることを称賛したりする。	◇粘土を糸で切る方法を使ってできる形の面白さについて記述している。 <振り返り①②③>
共通事項	糸を使って粘土のかたまりを切り、多様な形をつくる活動を通して、できた形や組合せなどの感じを捉え、自分のイメージをもつ。			

題材	5 ダンボールをつなげたら -造形遊び-			7月(2時間)
目標	段ボールを切ってできる形や形の組合せを工夫して、いろいろな形に切ったり、切り込みを入れて組み立てたり、接合したりして楽しむことができる。			
評価 規準	(①知・技) 段ボールを使った造形活動に楽しく取り組み、切り方やつなげ方の工夫に気付く。 (②思・判・表) 段ボールの形や組合せを工夫する。 (③主体的態度) 段ボールカッターを適切に扱って切ったり、切り込みを入れて接合の仕方を工夫したりして表す。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
であ う あ ら わ す ・ ひ ろ げ る	1	○段ボールカッターの扱い方を知り、段ボールを好きな形に切ったり切り込みを入れて組み立てたり接着剤で接合したりする。 	○工夫して造形活動ができるよう、段ボールカッターを適切に扱いながら切ったり組み立てたりして、思いどおりに表現している子どもを紹介したり、互いの表現を見合う機会を設定する。	◇ 段ボールでできそうなことを考えながら、段ボールを切ったり、つなげたりしている。 <作品①②③>
ふ り か え る	1	○互いの造形活動を見合い、よさや工夫を見付け合う。	○段ボールの切り方やつなげ方の工夫に気付けるよう、段ボールの切り方や組み合わせ方の視点で鑑賞する機会を設定する。	◇ 段ボールの切り方やつなげ方の工夫に気づき、振り返りに記述している。 <振り返り①②③>
共通事項	段ボールを切ったり、切り込みを入れて組み立てたり、接合したりする活動を通して、できる形や組合せなどの感じを捉え、自分のイメージをもつ。			

題材	6 マグネット・マジック -工作に表す-			9・10月(8時間)
目標	磁石の、引き合ったり退け合ったりする力で動く仕組みから表したいことを見付け、仕組みの形に合わせて材料や加工方法を工夫して動くおもちゃをつくる活動を通して、色や形の感じが分かる。			
評価 規準	(①知・技)磁石の、引き合ったり退け合ったりする力で動く仕組みの形に合わせて、材料や加工方法を工夫し、動くおもちゃをつくることで、色や形の感じが分かる。 (②思・判・表)磁石の、引き合ったり退け合ったりする力で動く仕組みからイメージをもち、見付けた表したいことの表し方を考えたり、よさや面白さを実感する。 (③主体的態度)磁石の、引き合ったり退け合ったりする力で動く仕組みに関心をもち、意欲的につくろうとする。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であ う	1	○磁石の、引き合ったり退け合ったりする力で動く仕組みで遊び、見付けた動きを生かして表したいものについて話し合うことで、活動の見通しをもつ。 — 学習のめあて — 磁石の、引き合ったり退け合ったりする力で動く仕組みを生かして、見た目も動きも面白いおもちゃをつくろう	○動きの特徴から発想することができるよう、班に1つ、仕組みだけの参考作品を用意する。	◇参考作品の動きから思い付いた表したいことについて、発言したり記述したりしている。<発言・振り返り③>
あら わす・ ひろ げる	1 4	○表したいおもちゃの形や飾りを考え、アイデアスケッチをする。 ○アイデアスケッチを基に、磁石の、引き合ったり退け合ったりする力で動く仕組みを生かして、色紙や身近にある材料で形や飾りをつくる。	○動く仕組みに色紙や飾りをどのように取り付けるか考えながら形を決めることができるよう、使える材料を用意する。 ○表したいおもちゃの動きに合わせて、仕組みや形、飾りを工夫することができるよう、動きを試す時間を十分に設定する。	◇動いている様子を基に、表したいおもちゃの形や飾りをアイデアスケッチに表している。 <アイデアスケッチ②> ◇材料や用具を適切に扱い、動く仕組みを生かして、形や飾りをつくっている。 <行動・作品①>
ふり か え る	2	○自他のつくったおもちゃで遊び、互いのおもちゃのよさや面白さに気付く。	○自他のつくったおもちゃのよさや面白さに気付くよう、互いのおもちゃで遊ぶ時間を確保する。	◇自他のつくったおもちゃで楽しく遊び、よさや面白さについて発言したり記述したりしている。 <発言・振り返り③>
共通事項	磁石の、引き合ったり退け合ったりする力で動く仕組みで遊ぶ活動を通して、動くおもちゃの形や色、組合せなどの感じを捉え、自分のイメージをもつ。			

図画工作科 3年

題材	7 あのときを わすれない -絵に表す-			9・10月(8時間)
目標	心に残った出来事の様子を思い浮かべ、そのときの気持ちが伝わるように表し方を考えたり、絵の具の扱い方を工夫したりして絵に表すことができる。			
評価規準	(①知・技)心に残った出来事の様子に合わせて、絵の具の色のつくり方、筆の動かし方などに気を付けてかき、表現のよさや面白さを感じ取る。 (②思・判・表)心に残った出来事を思い浮かべ、伝えたい気持ちが伝わるように画面構成や色彩、表し方などを工夫する。 (③主体的態度)心に残った出来事を絵に表すことに楽しんで取り組もうとする。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○3年生になってから、どんな心に残った出来事があったか話し合い、活動の見通しをもつ。(運動会、妙義オリ、昆虫の森、夏休みのことなど) ○心に残った出来事がよく伝わるように場面や構図、色などを考えて、表し方を工夫してアイデアスケッチに表す。 学習のめあて 心に残った出来事を、色や表し方を工夫してかこう	○心に残った出来事から表したい場面のイメージを思い浮かべることができるよう、様々な出来事について、少人数で話し合う活動を設定する。 ○伝えたい気持ちを表すことができるよう、主役となる人物の配置や大きさの違いが分かる参考作品を提示する。	◇表したい心に残った出来事について話し合っている。 <行動③> ◇伝えたい気持ちが表れるように、画面構成を工夫してアイデアスケッチに表している。 <アイデアスケッチ②>
あらわす・ひろげる	2	○心に残った出来事が伝わるようにするための、色や表し方の工夫考え、下絵に表す。	○伝えたい気持ちが表れるような工夫について具体的に助言したり、工夫している子どもの表現を参考にしたりすることができるよう中間交流を設定する。	◇表現意図に応じて、画面構成の工夫を考えながら下絵をかいている。 <作品②>
	3	○水彩絵の具で彩色する。 ・必要に応じて、パスやサインペンなどを併用してかく。 ・既習の表し方(にじみ、ぼかし、筆のタッチなど)を生かしてかく。	○自分の表したいことに合わせて、にじみやぼかし、筆のタッチなどの彩色の工夫をすることができるよう、互いの作品を見合う中間交流を設定する	◇表現意図に応じて、色をつくったり、筆を動かしたりしてかいている。 <作品①>
ふりかえる	1	○作品を見合い、互いの表現の工夫を見付け合う。	○作品のよさや面白さに気付くことができるよう、作品を見せ合いながら、描かれた場面の思い出について話し合う活動を設定する。	◇表現の工夫や楽しさに気づき、振り返りに表している。 <振り返り③>
共通事項	心に残った出来事を思い浮かべながら絵の具で表す活動を通して、伝えたい形や色、組合せなどの感じを捉え、自分のイメージをもつ。			

図画工作科 3年

題材	8 なりきり オン ステージ -工作に表す-			10・11月(8時間)
目標	グループで発表したい内容に合うように、ポリ袋やビニルテープなどの材料を使って、自分のイメージに合うコスチュームをつくることができる。			
評価 規準	(①知・技) ポリ袋やビニルテープなどの材料の組合せ方や加工の仕方を工夫し、コスチュームの形の面白さや色の組合せ方の工夫に気付いている。 (②思・判・表) グループで発表したい内容に合わせて、つくりたいコスチュームの形を思い付いたり、色の組合せを考えたりしている。 (③主体的態度) グループで発表したい内容に合うように、なりきりコスチュームをつくる面白さを味わいながら表現に取り組もうとする。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
であ う	1	○様々な材料を用いて試しになりきる活動を行い、学習の見通しをもつ。 学習のめあて 材料を工夫してコスチュームをつくり、自分がなりきりたいものになりきろう	○グループの思いを共有して表現を見合ったり、表現について話し合ったりできるよう、以下のような協同的な学習の工夫を行う。 ・歌や劇など、グループで発表したい内容に合わせて、3～7人のグループをつくる。	◇ポリ袋などの材料を使って、コスチュームつくる活動に興味をもっている。 <行動③>
あら わす ・ひ ろげ る	6	○ポリ袋などの材料の加工の仕方を知り、グループで発表したい内容に合わせてコスチュームを考え、アイデアスケッチに表す。 ○必要な材料を使って、自分のイメージに合わせてコスチュームをつくる。	○自分で実際に着たり脱いだりして、自分のつくりたいイメージに合わせて繰り返しつくり変えることができるよう、以下の学習材を設定する。 ・カラーポリ袋(赤, 青, 黄, 緑, 黒, 白, 金, 銀, 紫, 水色, 茶, 桃, オレンジ), ビニルテープ, 色画用紙, 段ボール, アルミホイルなど ○グループの思いを共有して表現を見合ったり、表現について話し合ったりできるよう、以下のような協同的な学習の工夫を行う。 ・コスチュームを着る役, 着たコスチュームに助言する役を設定する。	◇グループで発表したい内容に合わせて、使う材料や表現方法を考えてアイデアスケッチに表している。 <アイデアスケッチ②> ◇着たり脱いだりしながら、ポリ袋やビニルテープなどの材料を組み合せたり、加工したりしてついている。 <行動・作品①>
ふり か え る	1	○完成したコスチュームを着て、作品発表会で発表する。	○工夫された表現や工夫に気付けるよう、作品発表会を行う活動を設定する。	◇コスチュームの工夫されている形や色の表現のよさ、なりきる楽しさについて記述している。 <学習プリント③>
共通事項	グループで発表したい内容に合うようなコスチュームをつくる活動を通して、形や色、組合せなどの感じを捉え、自分のイメージをもつ。			

図画工作科 3年

題材	9 こんなところに 行けたらいいな（紙版画） -絵に表す-			1・2月（8時間）
目標	行ってみたい場所で楽しく遊んでいる自分の様子を思い浮かべ、材料の使い方や画面構成を考えるとともに、印刷用具を適切に扱い、紙版画に表すことができる。			
評価規準	(①知・技) はさみや接着剤、印刷用具を適切に扱い、効果的な版づくりやムラのない印刷の仕方を工夫し、材料の材質感を生かした版画のよさや面白さに気付く。 (②思・判・表) 行ってみたい場所で楽しく遊んでいる自分の様子を思い浮かべ、材料の材質感の生かし方や、版の部品の大きさや形、重ね方などを考える。 (③主体的態度) 材質感の違いによって表れる刷りあとの面白さに関心をもち、版をつくったり刷ったりすることを楽しもうとする。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○行ってみたい場所で楽しんでいる自分の様子を表すことを知り表せそうなことを発表し合う。 学習のめあて 行って見たい場所で楽しく遊ぶ様子を、材料を工夫して紙版画で表そう	○活動の見通しをもてるよう、行ってみたい場所で楽しんでいる自分の様子がよく分かるように工夫している子どものアイデアスケッチを提示する。	◇行ってみたい場所で楽しく遊んでいる自分の様子を思い浮かべて、友達と発表し合っている。 <行動③>
あらわす・ひろげる	1	○行ってみたい場所で楽しんでいる自分の様子がよく分かるようにアイデアスケッチに表す。	○版の線が小さくなったり、細くなったりしないよう、マジックを用意する。	◇行ってみたい場所で楽しく遊んでいる自分の様子がよく分かるようにアイデアスケッチに表している。 <学習プリント②>
	1	○アイデアスケッチを基に、人物や場面の様子の版を工夫してつくり、刷る。	○はさみや接着剤、印刷用具の使い方や、効果的な版づくりやムラのない印刷の仕方について知ることができるよう、参考作品を提示する。	◇自分の思いにあった彫り方を選んで版をつくりし、印刷用具を適切に扱ってムラのない印刷をしている。 <作品①>
ふりかえる	1	○作品を互いに見合い、版の材料の材質感を生かした使い方の工夫や、紙版画のよさや面白さを見付け合う。	○版材の刷りあとの面白さや表現の工夫に気付くことができるよう、互いの作品を見合う活動を設定する。	◇版による表現の工夫や版画のよさや面白さについて記述している。 <学習プリント③>
共通事項	版になる材料の試し刷りをする活動を通して、刷りあとの形や色、組合せなどの感じを捉え、自分のイメージをもつ。			

図画工作科 3年

題材	10 光と花のハーモニー -工作に表す-			2・3月(8時間)
目標	卒業や入学に合わせて南校舎玄関に飾る、見る人が明るく楽しくなるような作品をつくることのできる。			
評価 規準	(①知・技) 考えたテーマに合わせて、花紙の色の組合せや配置を工夫するとともに、表現のよさや面白さを感じ取る。 (②思・判・表) 卒業や入学にふさわしい、楽しい気持ちが伝わるように花紙の色の組合せや配置などを工夫する。 (③主体的態度) 南校舎玄関に飾る作品をつくることに進んで取り組もうとする。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○卒業や入学に合わせたテーマを決めて、学校が楽しくなるような作品を協力してつくることを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 学習のめあて 卒業や入学をお祝いする気持ちが伝わるように、友達と協力して作品をつくり、南校舎玄関にかざろう </div>	○光を通したときの見え方の変化に気付けるよう、参考作品を提示する。	◇卒業や入学に合ったテーマについて、友達と話し合っている。 <行動③>
あらわす・ひろげる	1 4	○卒業や入学に合わせて、南校舎玄関を行き来するのが楽しくなるようなテーマを考え、アイデアスケッチをする。 ○アイデアスケッチを基に、各テーマの班毎に、中心となる絵を考え、自分のつくりたいものなどを友達と相談しながらつけ足したり、修正したりする。	○卒業や入学に合わせて、南校舎玄関を行き来するのが楽しくなるような作品を思い付くことができるよう、友達と話す活動を設定する。 ○様々な色で表せるように、似ている色の花紙を用意する。	◇卒業や入学に合わせたテーマに沿って、アイデアスケッチをしている。<行動・学習プリント②> ◇テーマや中心となる絵に合わせて、花紙の色の組合せや配置を工夫して表している。 <行動・作品①>
ふりかえる	1	○作品を南校舎玄関に展示し、工夫したところを見付け合ったり、飾ったときの美しさを味わったりする。	○南校舎玄関を行き来しながら楽しく見ている様子に共感したり、展示した前後の雰囲気の違いに気付いたりできるよう、作品を鑑賞する活動を設定する。	◇表現の面白さや工夫に気づき、学習プリントに表している。 <行動・学習プリント①>
共通事項	南校舎玄関に飾る作品をつくる活動を通して、雰囲気の変化や色の組合せなどの感じを捉え、自分のイメージをもつ。			